

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 9 2 号
件 名	中央区役所のNEXT21と大和跡に建設計画のビルへの移転計画の見直しを求めることについて
要 旨	<p>現在の新潟市の財政は、BRT連節バス事業や水と土の芸術祭等の影響により、約1兆円の借金を抱える赤字倒産一步手前の財政状態になっています。</p> <p>1兆円の借金は、毎年100億円返して100年もかかる莫大な金額です。これは80万市民1人当たり125万円もの借金です。</p> <p>この赤字財政のツケは、私たちと次世代の子々孫々に暗い影を落とすことになり、財政再建は急がなくてはならない課題です。</p> <p>この財政状況において、莫大な費用を要する中央区役所のNEXT21と大和跡に計画の中の新ビルに移転の計画が、費用対効果が期待できない不透明なままフロア購入方式で計画が進んでいるようです。</p> <p>この返せる当てもないような赤字財政に鑑み、費用対効果が期待できない中央区役所移転計画は保留として、ここに数年の時間をかけても古町活性化計画を見直し、民間活力を導入し、世界の新潟をアピールして必ず人が集まる構想の、東京の六本木ヒルズ的な大構想の開発を望むものです。六本木ヒルズは、一例として地下には電気の供給がとまることのない自家発電設備が稼働しています。</p> <p>よって、この大構想の中に中央区役所が移転する構想のプロジェクトを立ち上げ、必ず返せる資金調達の方法も考えた新潟市の将来を見据え、必ず新潟古町が活性化することに税金を使う無駄遣いのない計画の構築をするため、中央区役所の移転計画の見直しを求め陳情します。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 28 年 9 月 9 日 総務常任委員会
受 理	平成 28 年 9 月 6 日 第 3 2 0 号